



〒364-0003 北本市古市場 1-36

TEL/FAX 048-591-5762

携帯 090-8848-8465

Email tatsumi3@gmail.com

URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~oshimatatsumi/>

1965年北本生まれ。

北本市立中丸小学校、北本市立東中学校、埼玉県立不動岡高等学校、東洋大学経済学部卒業。

三国コカ・コーラボトリング(現コカ・コーラボトラーズジャパン)入社。その後、経営コンサルティング会社、投資顧問会社勤務。衆議院議員公設秘書を経て2011年より北本市議会議員。現在3期目。



人にやさしく、暮らしやすいまち

安心・安全なまちづくり

財政の健全化

行政改革の推進

令和4年第4回定例会についてご報告します。

北本市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について

この条例は、令和5年4月1日より全国的に個人情報の保護に関する法律が施行されることともない、北本市個人情報保護条例を廃止する一方で、北本市として法律施行に必要な内容を盛り込むための条例です。

しかしながら、審議会に対して諮問したにもかかわらず、その答申を受ける前に議案を上程したなどの理由から、賛成無しで否決となりました。今年度内に見直しを行ったうえで、再度上程される見込みです。

中央通線の早期の事業実施に関する請願

この請願は正式には「北本都市計画道路3・3・2中央通線のみずま通りから国道17号までの区間の早期の事業実施に関する請願」というもので、北本1丁目から4丁目の自治会長より提出されたものです。

中央通線は北本駅東口から東へ延び、国道17号を横切り北本高校方面へと続く道路です。このうち、中山道から国道17号までの約710メートルが都市計画決定されました。現在、中山道からみずま通りまでの約340メートル区間の整備が進み、令和4年度中に完了予定です。

残りのみずま通りから国道17号までの約370メートルの事業化については、現在の事業完了後に判断される見込みです。この区間は、現状では幅員約7メートルで車道と歩道が分離さ

れていません。中丸小学校の通学路でもあり、児童だけでなく北本高校の生徒や高齢者などの歩行者や自転車利用者には大変危険な状況です。

このようなことから、みずま通りから国道17号までの区間の早期事業化と、それまでの間、児童生徒や高齢者をはじめとする歩行者や自転車利用者、車両運転者が、安心・安全に通行できるよう必要な対策を講じることを請願事項としてあげています。

議会としては、全会一致で採択するものとなりました。

現状では、午前7時30分から午前8時30分までは「スクールゾーン」の設置で車両進入禁止となりますが、それ以外の時間では下校時の児童生徒や高齢者などの歩行者や自転車利用者には大変危険な状況です。

全線整備されるまでは、安心・安全に通行できるよう対策を講じる必要があります。

「道路等損傷情報収集システム」の運用

これまでに何度か一般質問で取り上げてきました「道路等損傷情報収集システム」が、12月1日から運用開始されました。

道路や河川等の不具合をスマホやパソコンから24時間、365日いつでも簡単に通報できる仕組みです。市民の皆様にとっても行政にとってもメリットのあるシステムですので、ぜひご活用ください。

大島たつみの一般質問より（抜粋）

DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進について

（問）全体戦略をどのように推進していこうと考えているのか。

（答）ステップ1として令和4年2月に北本市DX推進方針を策定し、市民にとって便利な市役所と行政事務のスマート化の2つの基本方針を掲げています。ステップ2の組織体制の整備では、4月から北本市DX推進委員会を設置するとともに庁内各課にDX推進委員を配置したところです。現在ステップ3の取組の実行に着手をしています。

（問）主な取組の進捗状況、見通しは。

（答）現在特に力を入れている施策としては、行政手続のオンライン化です。今年度からスマート申請システムを導入し、全庁的に各種手続の電子化を進めているところです。今後の取組としては、令和5年度に向けて書かない窓口の導入を検討しています。

（問）DXを推進していく上で問題点、課題等はあるのか。

（答）1点目としては、経費に関する課題です。費用対効果についての検証や経費の平準化の課題があります。2点目としては、デジタル・ディバイドの課題があります。例えばスマホやパソコン等を持たない高齢者など、それら情報通信技術を利用できる方と利用できない方との間に情報格差が生まれてしまいます。

（問）新潟県柏崎市において導入されているデジタル予算書について、どのように考えているのか。

（答）この仕組みは行政運営のPDCAサイクルを可視化するとともに行政情報の公開ツールとして有効であるだけでなく、庁内での利活用においても大変効果的なものと考えていますので、導入等について検討していきたいと考えます。

DX（デジタルトランスフォーメーション）は、デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革することを指します。これにより、行政サービスもより便利なものとなることが期待されます。ただし、デジタル技術に不慣れな方でも問題なく使えるようにしなければなりません。

橋りょうについて

（問）北本市内における橋りょうの設置状況は。

（答）市内には荒川にかかる高尾橋を始め全部で98橋あります。

（問）メンテナンスはどのように行っているのか。また、橋りょうの耐用年数はどの程度なのか。

（答）道路法に基づき5年に一度の定期点検を実施し、点検結果に応じて橋りょうの修繕を行っています。また、耐用年数については60年です。

（問）北本市内に勝手橋が存在するのか。

（答）現状では存在していないという認識です。

NHKの番組で取り上げられた「勝手橋」ですが、許可を得ずに勝手に架けられた橋のことです。管理者が不明なため十分な管理も行われず大変危険です。全国に約1万か所もあるようですが、北本市には存在しないことが確認でき安心しました。



一般質問の録画配信は、こちらからご覧いただけます。

【あとがき】

次回の令和5年第1回定例会は、2月20日（月）から3月17日（金）の予定です。

今後も皆様のご意見・ご相談などお寄せいただけましたら幸いです。



北本トマト
イメージキャラクター